



初霜

「今夜はいやに冷え込むね」などと語り合った翌朝、窓を開けると、白く霜が光っていることがあります。初霜を見ると、「あつ、もうすぐ冬だな」と感じます。

大人がこれから迎える冬の寒さを思うのとは別に、子どもたちは無邪気に喜んで、霜の道を通って学校に行きますが、その時間にはもう消えてしまっていて、がっかりということもしばしばです。都会に住んでいる子どもたちは、なかなかこんな経験をすることは少ないかもしれません。

初霜が降りる時期は、北と南の地方で、だいたい三カ月くらい違ってきます。南北に長い日本列島の特徴が表われているようです。